

# サガハイマツト通信

VOL.11

(平成27年9月号)

## サガハイマツト治療開始から2年



受付スタッフ

## リレー・フォー・ライフ 県内で初めて開催



公益財団法人  
佐賀国際重粒子線がん治療財団

理事長 中川原 章

サガハイマツトはお陰様で開設2年を迎えることができました。皆様のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、9月26、27日に「がん征圧」と「患者支援」を目的とした24時間チャリティイベント、リレーフォーライフジャパンが佐賀県で初めて開催されます。がん患者・家族、医療従事者、支援者、一般市民が集まって実行委員会を立ち上げ、私も大会副会長として準備を進めてきました。このイベントをきっかけにがんという一つの病気を通じて、経験や想いを分かち合い支えあえる仲間との出会い、そして若い人たちを巻き込んだ市民運動の盛り上がりを楽しんでいます。皆さま、ご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。



サガハイマツトは、九州国際重粒子線がん治療センターの愛称です

### サガハイマツトの受診に関する相談窓口

電話 **0942-50-8812**

(受付時間:平日の9時~12時、13時~17時)

メール **saga-himat@saga-himat.jp**

工藤センター長  
インタビュー



# 2年間で想定の

## 現在は7つの領域の

8月で治療開始から丸2年を迎えたサガハイマツ。治療部位も拡大し、現在は前立腺、肺、肝臓など7つのがんの治療に当たっています。また、治療実績も想定していた患者数を大きく上回り順調です。2年目の総括と、今後の目標などを工藤 祥センター長に聞きました。

### 口コミで訪れる患者も増加

▼サガハイマツの治療開始から2年が経ちました。2年目の総括をお願いいたします。

この1年間の治療患者数は582人、2年間の合計では904人の実績となりました。治療開始当初は、前立腺がんのみでしたが、一昨年12月に頭頸部、骨軟部腫瘍、昨年3月から肺、肝臓、すい臓がんや直腸がんの骨盤内再発の治療も始めました。当初から治療を開始した前立腺がんの患者さんが最も多いのですが、肝臓や肺がんの患者さんが増えてきており、前立腺がんと同じ泌尿器系である腎臓がんの患者さんも受け入れています。

2年目は、サガハイマツの認知度がさらに上がったと実感しています。医療関係者はもちろん、実際に治療を受けた患者さんからの口コミが広がり、その話を聞いた人が自ら希望して、かかりつけの病院に紹介状を書いてもらうというケースも増えています。

▼患者さんが最も気になるのは、治療後にがんが再発しない局所制御率や生存率だと思います。治療開始からまだ2年ですが、患者さんの経過はいかがですか。

サガハイマツは治療開始からまだ2年であるため、3年から5年が一つの目安とされる局所制御率や生存率への言及は早いと思います。

ただ、重粒子線治療は治療後早期(3か月以内)の

副作用も後期の副作用も少ないといわれていましたが、想定通りの結果となっています。治療後の副作用が少ないことで、「心配していたような大変な治療じゃなくて良かった」と実感する患者さんも多いようです。また、最初のがんと同じ場所か近くに治療後短期間で再発する例も少なく、これも想定通りです。

他の治療後に再発したがんに対する重粒子線治療の例も多く、手術が難しい場所に発生した場合も、副作用が少なく、体力に不安のある人でも十分治療に耐えることができる重粒子線治療を希望する人も多かったようです。ただ、サガハイマツは入院施設がないため、がん以外に、例えば心臓などの病気を抱えて医師の管理が必要な人などは、近隣の医療機関に入院しながら、がん治療だけサガハイマツに通う、という方法を取る人もいます。

治療開始からまだ2年なので、今後も長期的に経過を見ながら、順調に推移していけばと思います。

### 入念なメンテナンスを行い 診療技術の向上も目指す

▼先進技術を有効に活用するには、医療スタッフの力は欠かせません。スタッフの技術向上を含め工夫されていることはありますか。

診療技術を上げることと、装置のメンテナンスの両面で、日々、気を配っています。

診療技術に関しては、すべての医師、医学物理士、

# 1.5倍となる900人を治療

## がんが治療可能

診療放射線技師、看護師の医療専門スタッフが週2回、カンファレンスを行い、治療方針や経過など、すべての患者さんの治療情報を共有しています。情報共有することで、あらゆるケースの問題解決に役立っています。医療スタッフのこのような日ごろからの取り組みのおかげで、サガハイマツが順調に進んできたものと感謝しています。

外部との情報交換も重要です。特に重粒子線治療のさきがけである、千葉市の放射線医学総合研究所(放医研)とは定期的に情報交換をしています。放医研は20年以上の実績があり、我々にはない基礎データを多数積み重ねているので、治療計画を立てる時の参考にしてしています。また臓器ごとの研究班にこちらからも出向いて研さんに努めています。

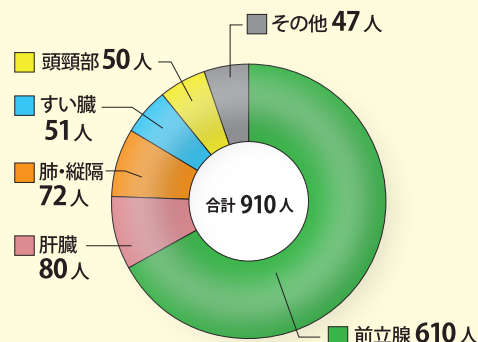
治療開始から2年間、順調に推移できたのは、加速装置や照射装置などの装置に大きな故障がなかったことも理由の一つです。2つの治療室がフル稼働できたのは、入念なメンテナンスのおかげです。メンテナンスは医学物理士をはじめとする関係機関のスタッフ全員が一丸となって毎日の治療後だけでなく、毎週月曜や週末にも行っています。

▼今後は食道や子宮など、治療部位の拡大も考えているとかがっています。次の1年に向けてやるべきこと、課題は。

3番目の治療室が、2017年4月の稼働を目指して準備中です。従来の2室で行う治療は1~2週間の準備期間が必要でしたが、新しい照射方法を取り入れる第3の治療室では、準備期間が短く、照射範囲も若干広くなります。現在開発中の技術ですが、従来の2室と合わせて、スムーズな稼働を目指したいと思います。

データで見るサガハイマツ

サガハイマツでの部位別治療患者数 (2015年8月31日現在)

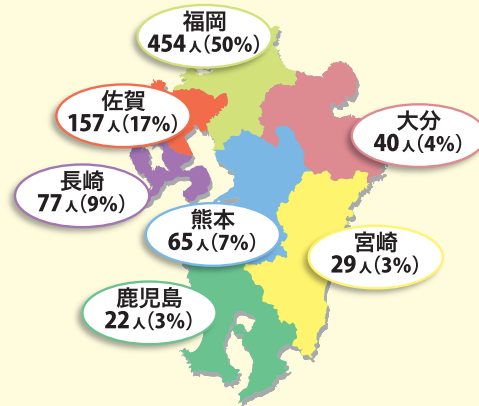


### 前立腺がんが67%

部位別では、前立腺がんが610人で全体の約67%を占めました。最初に治療を開始したのが前立腺がんだったことが要因です。2番目に多いのが肝臓の80人で全体の約9%。次いで肺・縦隔72人、すい臓51人、頭頸部50人、その他※が47人となっています。

※その他は骨軟部、直腸(骨盤内再発)、腎臓、リンパ節など

サガハイマツにおける地域別治療患者数 (2015年8月31日現在)



### 患者数九州7県で93%

都道府県別に見ると、福岡県が454人で最も多く、全体の50%。次いで佐賀県157人(17%)、長崎県77人(9%)、熊本県65人(7%)、大分県40人(4%)、宮崎県29人、鹿児島県22人(ともに3%)となっています。九州7県で93%を占めています。

また、食道や子宮がんについても時機を見ながらできるだけ早く治療が始められるように準備中です。今後も重粒子線治療の有効性や安全性を周知していくとともに、たくさんの患者さんの治療を行いたいと思います。

佐賀県初!

## リレー・フォー・ライフ(RFL)に参加しませんか? 佐賀市のどん3の森で9月26～27日開催

リレー・フォー・ライフ(RFL)とは、がん体験者やその家族などを支援し、地域全体でがん征圧を目指そうとする、米国発祥のチャリティー活動です。

内容は、どん3の森をがん患者や家族、友人、支援者らが交代で夜通し歩く「リレーウオーク」を行い、がんと闘う人を支えようというものです。会場にはがん啓発のブースを設け、「がん制圧」のための募金活動も併せて行います。



がん患者はもちろん、がん経験者、家族、一般などだれでも参加できます。当日はがん相談のテントを設け、医師など専門の支援者が個別相談に応じます(無料)。

日 時 ◆ 9月26日(土)14時開会～27日(日)14時閉会  
場 所 ◆ どん3の森(佐賀市天神)  
青空がん相談 ◆ 26日(土)15時～17時30分、27日(日)9時～12時  
参 加 費 ◆ イベントは出入り自由。ただし、「リレーウオーク」は募金として1000円の参加費が必要。ただし、サバイバー(がん経験者)、高校生以下は無料。  
問 い 合 せ ◆ リレー・フォー・ライフ・ジャパン佐賀実行委員会  
☎ 0952(23)5690 ホームページ [www.rflj-saga.jp](http://www.rflj-saga.jp)

## 一般公開に700人

サガハイマツトの一般公開を7月18日に実施しました。最先端のがん治療施設を一目見ようと、県内外から約700人が訪れ、普段は立ち入ることのできない治療室や直径20mの円形加速器などを見学しました。

一般公開は一昨年5月、昨年7月に続き3回目。体の負担が少なくがん治療ができる重粒子線治療への関心は高く、参加者は医療スタッフの説明に熱心に耳を傾けていました。



## スタッフ紹介

受付 奥田 さおりさん

【略歴】

おくだ・さおり / 1982年佐賀県生まれ。佐賀県内の医療機関で医療事務として勤務後、2013年5月から佐賀国際重粒子線がん治療財団勤務。



## 安心して心地よく過ごしていただくために

サガハイマツトに来られる患者さんは、皆さん大きな不安を抱えられてお越しになります。そのときに、まず顔を合わせ、言葉を交わすのが私たち受付スタッフです。受付スタッフの対応がサガハイマツトの第一印象につながります。診療費の受け渡しなどを正確に行うことはもちろんですが、安心して心地よくお過ごしいただける対応を心掛けています。

## ●寄附をお願いします●

佐賀国際重粒子線がん治療財団では、引き続き皆さんからの寄附を募集しています。県内、ひいては九州のがん医療の充実につながるサガハイマツトへのご支援をよろしくお祈いします。

なお、当財団へご寄附をいただいた方には、特定公益増進法人に対する寄附として、税制上の優遇措置があります。詳しくは、当財団までお問い合わせください。

## サガハイマツト通信 vol.11

(平成27年9月号)

【お問い合わせ】

発行 ■ 公益財団法人  
佐賀国際重粒子線がん治療財団 (担当) 落合

所在地 ■ 〒841-0071 佐賀県鳥栖市原古賀町3049番地

TEL ■ 0942(81)1897 FAX ■ 0942(81)1905

H P ■ <http://www.saga-himat.jp/>